

取組名称	廃ビールホースのアップサイクル活動 [ReBL：Reborn Beer Line～生まれ変わったビールライン]			団体設立後の経過年数	創業135年目
応募取組主体名称	アサヒビール株式会社	活動地域	日本全国	応募取組の活動年数	3年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動平衡賞				



取組の要旨

これまで廃棄していた、使用済みビールホースを再生材「ReBL（Reborn Beer Line）」に変換し、スマートフォンケースやコースターなどにアップサイクルする循環型デザインの取組です。再生工程では障がい者施設との連携により雇用創出を図ることや、洗剤や添加物を使用しない工程の確立により環境負荷の軽減と社会的価値の創出を両立。アサヒグループのステークホルダーと協働し、持続可能な資源循環モデルの構築を目指しています。

実績の要旨

2022年の取組開始以来、約10トンの廃ビールホースをアップサイクル。スマートフォンケース約5千個、料飲店向けコースター約23万枚、会員向け約1万枚、洗浄キットホルダー約2.6万個などを製造・展開。商標・意匠登録も完了し、環境・社会・経済の三側面で持続可能な成果を実現しています。

取組評価の要旨	環境への貢献	使用済みビールホースをサーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへ転換することで、廃棄物の削減とCO ₂ 排出の抑制に貢献。洗浄工程では薬液を使わず、水と粉砕機のみで処理する環境配慮型プロセスを確立。
	社会・経済への貢献	障がい者施設との連携により、洗浄・仕分け工程での雇用創出を実現。製品は飲食店や社員向けに展開され、啓発・ブランディング・販促ツールとしても活用されることで、経済的価値と社会的包摂を両立。
	地域資源の活用	全国20万店以上の飲食店から回収される廃ホースを再資源化し、地域の障がい者施設や協力企業と連携して製品化。地域の人材・施設・ネットワークを活かした循環型モデルを構築。
	普及・汎用性	スマートフォンケースやコースターなど、日常的に使用される製品への展開により、一般消費者や飲食店など多様なステークホルダーに普及。アサヒグループ社員のモチベーションツールとしても活用。
	革新・ユニーク性	複合素材である廃ホースを射出成形可能な樹脂に変換し、特殊表面処理により加飾を可能にした独自技術を確立。100%アップサイクル素材でありながら、デザイン性と機能性を両立する革新的な製品群を実現。
	継続性	2022年の開始以来、約10トンの廃ホースをアップサイクル。今後は全廃ホースの再資源化を目指し、シート化・発泡成形などの技術開発を継続。関係企業との連携体制も強化し、持続可能な事業モデルとして展開中。

展望の要旨

ReBLプロジェクトでは、廃ホースの全量アップサイクルを目指し、技術開発と製品展開を継続します。今後はシート化や発泡成形技術を活用し、スマートフォンケースやコースターに加え、サンダルや店舗什器など新たな製品群への展開を計画。障がい者施設との連携強化や地域雇用創出を通じて、資源循環型社会のモデルケースとなることを目指します。